南江戸の家

平成 28 年度第 1 回採択

建設地	:	愛媛県松山市	竣　　工	:	平成 29 年 12 月	敷地面積	:	384.97 ㎡
地域区分	:	6 地域	用　　途	:	専用住宅	延床面積	:	136.65 ㎡
設計者	:	（株）西渕工務店	構造・階数	:	木造軸組・地上 2 階	建築面積	:	105.15 ㎡

■提案の概要

◯土塗壁による木造軸組工法の住宅。現代風の空間構成を形成しつつ、地域産材、伝統的な壁工法の採用等により、地域の気候風土への適応を図っている。

◯地域の気候風土に応じた木造建築の要素技術については、土塗壁、地場製作の木製建具を採用している。

◯現行の省エネ基準では評価が難しい環境負荷低減に寄与する対策については、多層構成の建具、手刻み加工、地域産材の使用（木材、土、藁、シュロ等）、地域大工の登用・育成などの対策を講じている。

併せて、深い軒庇、屋根・床の断熱構造化（再生断熱材を使用）などの省エネルギー化の工夫を図っている。

地域の気候特性に配慮した土壁と板壁の組合せをもつ外観

深い軒と広い縁側・大きな開口部がある南側の外観

現代的で開放的な内部空間

■地域の気候風土への適応・環境負荷低減対策　　　凡例：気候風土への適応　環境負荷低減対策

□深い軒・庇
軒の出：900㎜

□多層構成の建具
内障子が使われている。

□土塗壁
厚さ：80～100㎜
竹小舞下地土壁が使われている。

□木製建具
地場製作の木製建具が使われている。

□床板張り
下地材に無垢材 30㎜ 厚が使われている。
床材に無垢材 15 ㎜厚が使われている。

□畳（稲わら畳床）の使用

□地域産の材料の使用
構造材・造作材の杉・桧に愛媛産材が使われている。
土壁に内子町の粘り強い土が使われている。
壁下地組立に四国産のシュロが使われている。

□地域の建築職人・大工の登用
自社大工を育成する取組みがある。

□その他
自社木材加工場で手刻みと機械加工が行われている。
伝統的仕口・継手が用いられている。
合板０の家としている。

深い軒・庇

多層構成の建具

土塗壁

木製建具

床板張り

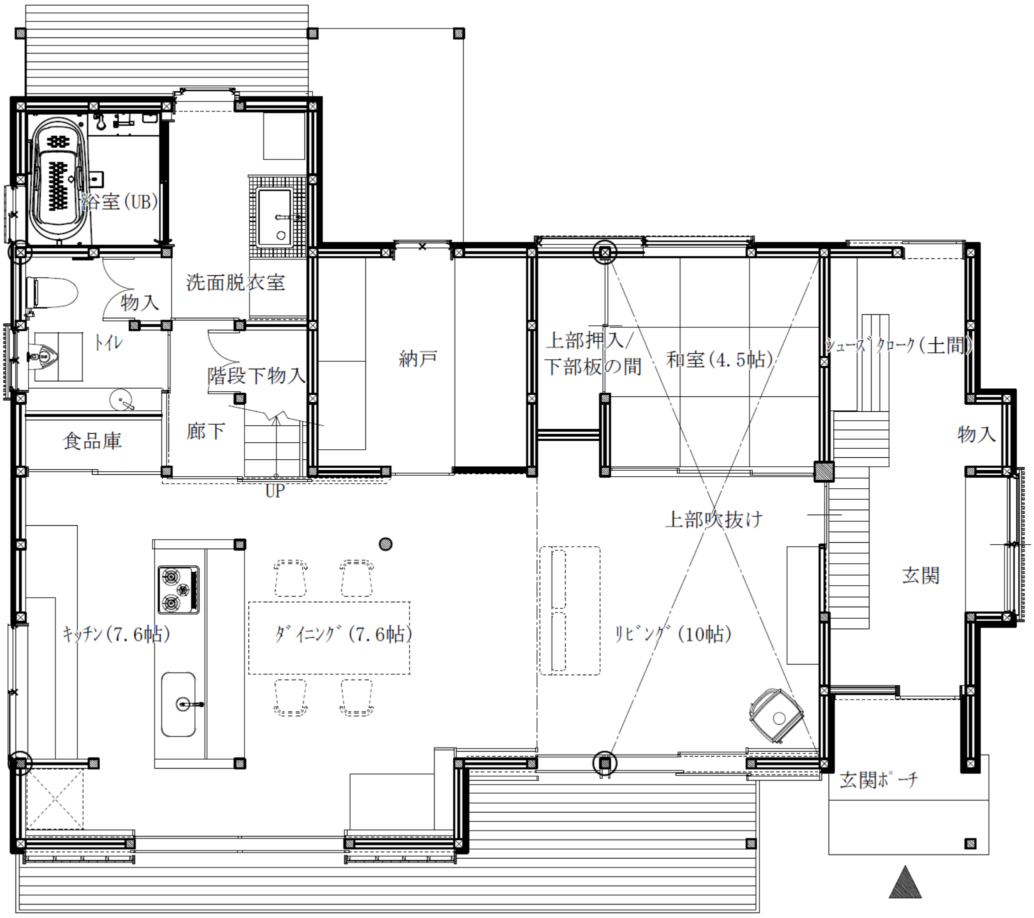
畳（稲わら畳床）の使用

地域産の材料の使用

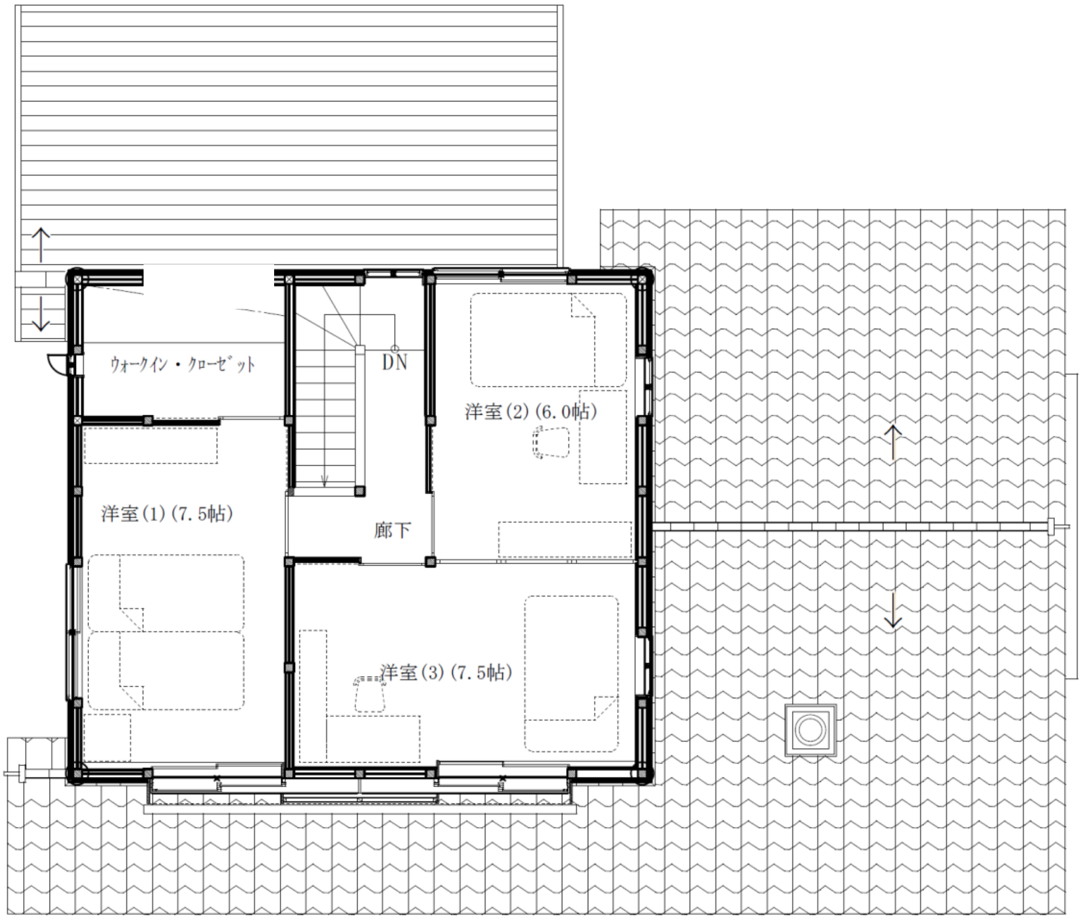
その他（伝統的仕口・継手等）

■エネルギー性能

項　目	基準値	設計値
評価方法	Web プログラム 気候風土適応住宅版による評価	
地域区分	6 地域（愛媛県松山市）	
外皮平均熱貫流率（U_A値）	0.87 以下	1.48　W/（m^2・K）
一次エネルギー消費量	90.9 以下	90.9　GJ/（戸・年）
一次エネルギー消費性能（BEI）	1.0 以下	0.79

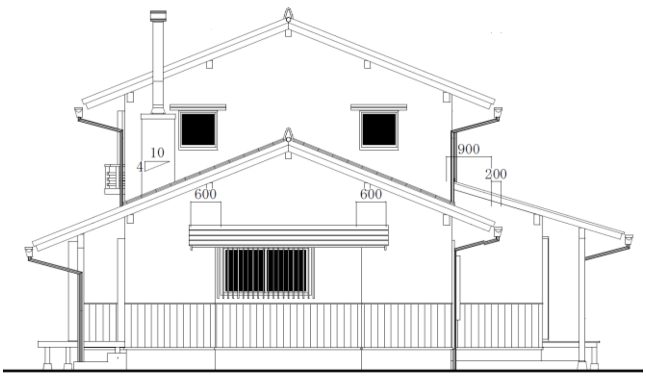

浴室(UB)
洗面脱衣室
物入
トイレ
階段下物入
廊下
食品庫
UP
納戸
上部押入/
下部板の間
和室(4.5帖)
シューズクローク(土間)
物入
上部吹抜け
玄関
キッチン(7.6帖)
ダイニング(7.6帖)
リビング(10帖)
玄関ポーチ

1階平面図

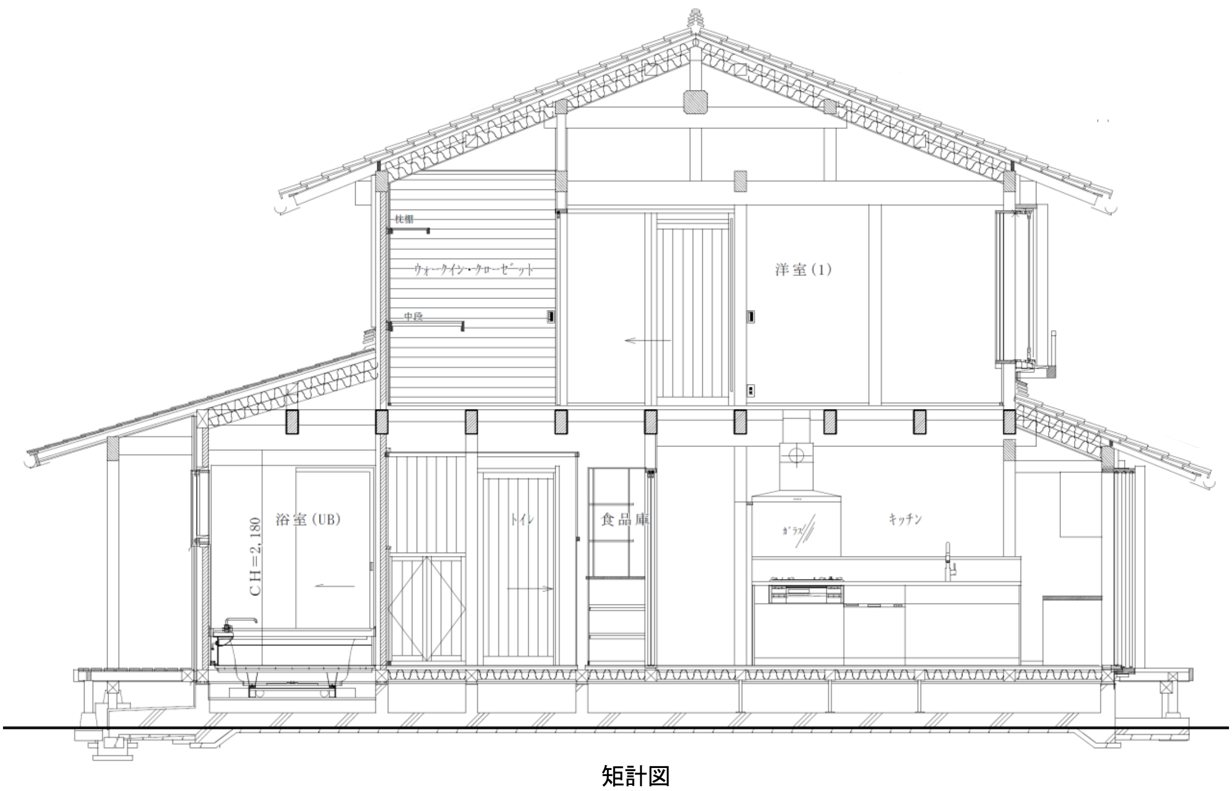

ウォークイン・クローゼット
DN
洋室(2)(6.0帖)
洋室(1)(7.5帖)
廊下
洋室(3)(7.5帖)

2階平面図

南側立面図



東側立面図



矩計図

■お施主様の声

家を建てることになり、様々な住宅を見た結果、地場の木を使い、漆喰壁のある家は、内部の空気が清々しいと感じました。そのような家づくりをしている工務店をネットで探し、西渕工務店さんを見つけました。サステナブルに対する考え方を大切にし、今後環境負荷の少ない家づくりを目指している考え方にも賛同し、新築を依頼しました。

化学物質を使わない材料選び、開放感のある空間などに対する要望に対し丁寧に対応していただき、プランニングに反映していただきました。

床板が裸足で歩くととても気持ち良いです。また薪ストーブも家中が温かく、快適です。障子の暖かさも実感しています。薪や薪棚づくり、煙突掃除など、大変な面もありますが、楽しみながらやっており、その分愛着も増しています。

■設計者の声

お施主様には、調書を書いていただき、ヒアリングをさせていただいたうえで図面化します。文章だけではわかりにくいことは、スケッチや写真でご要望を出していただくようにしています。

お施主様は、家づくりについてよく勉強されており、木製サッシをこだわりとし、和のある暮らしのイメージをされていたので、土壁を提案させていただきました。

家づくりでは、風の道を重視しています。方角による横方向の風だけではなく、家の中の縦方向の風にも配慮し、吹抜けには高窓を設けるなど、熱の特性を利用した下から上への風の流れにも配慮しています。

施工は、墨付け、刻み、現場施工まで、一人の棟梁が中心となり、若い大工の育成に取り組んでいます。